

## 香川大学学生防災士クラブ もしもの時、皆で生き残るために知識をつけたい

香川大学学生防災士クラブとは、防災士を取得した学生から構成される防災士の団体です。香川県防災士会と連携し、地域防災活動に参加したり、地震や豪雨災害によって被害を受けた地域でボランティア活動を行ったりしています。

私がこのような活動に参加しようと思った理由は、「南海トラフ地震が起きた際、自分の命は自分で守りたい、できるなら周りの人を支えられるようになりたい。」と思ったからです。日本では地震や台風など、毎年どこかで災害が発生しています。香川県は災害が少ないと言われていますが、南海トラフ巨大地震など、いつ大きな災害が起こってもおかしくありません。もしもの時、皆で生き残るために知識をつけたいと思い、香川大学学生防災士クラブに入ることを決意しました。

防災についての知識を得るため、私はネクストプログラム「防災士養成プログラム」に参加しています。防災士養成プログラムでは、様々な講師の方々に講義をしていただいている。講義内容は、

防災士としての活動や、災害時の公衆衛生について学ぶほか、防災まちあるきや災害対応訓練などの実習があります。災害対応訓練では、災害状況再現・対応能力訓練システムを使い、実際に災害が起きた時どのように行動するかをシミュレーションしました。災害時には、思ってもいよいよなトラブルが発生するかもしれません。屋外に出るだけでも、ドアが開かない、パニックになつた人がいる、怪我をした人がいるなど、様々なことが考えられます。シミュレーションすることで、今まで気が付かなかつたことに気づくことができました。このように、様々な講義、実習を通して防災についての知識を得ています。

からも活動に参加し、様々な経験をしたいです。災害が起きた時「まさかこんなことが起こるなんて…」とならないよう、日常生活の中で防災について意識することが大切なのではないかと思います。災害が起きたとき、避難所がどこか分からぬ、何をしたらいいか分からぬとならないよう、避難所の場所を調べてみたり、水を買っておいたり、できることを少しづつやっていくことが大切です。その延長線として、避難訓練やボランティアに参加する人が増えてほしいと思います。

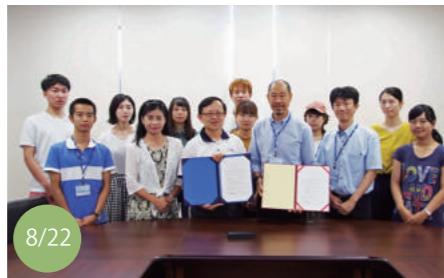
工学部2年 宮崎夢海



## EVENT PHOTO



トピタテ！留学 JAPAN  
第9期派遣留学生の壮行会



国立嘉義大学と学生の交流に関する Supplement を締結

世界へトピタテ！香川の未来を担う若者たち！トピタテ！留学 JAPAN～日本代表プログラム～「香川地域活性化グローカル人材育成プログラム」今回、経済学部からは真鍋怜花さんが選ばれました。真鍋さんはベトナムで4カ月間PR技術を習得するためにインターンシップを行います。



「未来をつくるリケジョフェスタ  
in かがわ」に参加

女子中高生が自由に質問したり話ができるサイエンスカフェでは、10人のロールモデルのうち医学部附属病院の石川かおり先生が参加され、女性研究者として対応しました。出展したパネルでは、女性研究者2名の研究テーマや、理系学部所属の在学生からのメッセージを紹介しました。



高松市ホームタウンデー 2018  
を開催



Best poster presentation  
award を受賞

経済学部宮脇研究室・カマタマプロジェクトの学生たちが主体となり高校生も巻き込んで企画。「親子観戦体験バスツアー」では、移動中の車内で学生たちによるクイズ大会や応援練習を、スタッフ到着後は「親子手つなぎミニサッカー」など、様々なイベントが行われました。



小豆島 SAKATE プロジェクトが  
瀬戸内海研究フォーラムで  
ポスター優秀賞を受賞

島嶼部における地域活性化に向けた取り組み～香川大学小豆島SAKATEプロジェクトを事例として～を演題にポスター発表を行い優秀賞を受賞。瀬戸内海研究会議主催の瀬戸内海研究フォーラムには、今回約180人の参加がありました。